



**【会長賞】「朝の輝き」**

三浦 一喜(鶴岡市在住)  
(撮影場所: 鶴岡市大鳥地内)

**【審査員講評】**

朝日をあびて新緑のみずみずしさがいちだんと際立ち、目に飛び込んできます。ちょうど良いアングルを探すのが難しい場所だと思いますが、カメラマンの感が冴えた作品となっています。



**【副会長賞】「秘境」**

高橋 慎之輔(村上市在住)  
(撮影場所: 村上市三面地内)

**【審査員講評】**

画面構成が良く、構図など無駄なところがありません。シャッタースピード、光の見極めも的確です。この作品も場所そして立ち位置など、日頃からカメラを覗いている方でないと撮れません。



**【優秀賞】「秋の陽光」**

小檜山 裕行(宮城県角田市在住)  
(撮影場所: 鶴岡市大鳥地内)

**【講評】**

秋の残照の中、光を切り詰める事にこだわったのが水面の美しさ、風の動きを感じる作品となっています。



**【優秀賞】「スーパーラインの紅葉」**

齋藤 正毅(三川町在住)  
(撮影場所: 鶴岡市大鳥地内)

**【講評】**

紅葉の中、白い一本のラインが印象的で、スーパーラインを一言で表現されています。





**【優秀賞】「スポットライト」**

齋藤 弘男(鶴岡市在住)  
(撮影場所:鶴岡市行沢地内)

**【講評】**

朝日地域はカタクリを良く見かけますが、光のアクセントにより余計に密集感が表現されました。



**【優秀賞】「冬の三面川」**

田村 昭一(村上市在住)  
(撮影場所:村上市千縄地内)

**【講評】**

撮影困難な冬の作品は貴重な存在感があり、美しいというより緊迫感を感じます。



**【入選】「池畔秋彩」**

齋藤 勝美(山形市在住)  
(撮影場所:鶴岡市荒沢地内)

**【講評】**

紅葉の美しさはよいのですが、上下の黒フチが微かな水面の光の映り込みを妨げている気がしました。



**【入選】「寿岡の選鉱場跡」**

五十嵐 貞一(鶴岡市在住)  
(撮影場所:鶴岡市大鳥地内)

**【講評】**

緑の中、古代の遺跡かなと感じられるほど魅力的な場所です。資源活用できないのか気になります。





**【入選】「晩秋の彩り」**

五十嵐 貞子(鶴岡市在住)  
(撮影場所:鶴岡市大針地内)

**【講評】**

この場所の作品は他にも数点ありましたが、紅葉の構図が良く、橋と川のポイントをうまく押さえています。



**【入選】「晩秋叙情」**

武谷 捷夫(鶴岡市在住)  
(撮影場所:鶴岡市大鳥地内)

**【講評】**

山の中の水車、魚がいるのか水面に動きもありますし、紅葉の山には何か生き物の気配が感じられます。



**【入選】「残雪山桜」**

木村 東仁(岩手県一関市在住)  
(撮影場所:村上市岩崩地内)

**【講評】**

大きく桜を見せ、迫力ある画面ですが、手ぶれなのかピンが甘くなったのが残念な気がします。



**【入選】「涼」**

貝沼 カツヨ(村上市在住)  
(撮影場所:村上市高根地内)

**【講評】**

緑が綺麗で涼し気ですが、日当たり日陰の難しさが出ました。手前の日当たりを外し、カメラを上部に向けると緑がより強調したかもしれません。

【第2回 鶴岡市・村上市 朝日スーパーライン写真コンテスト 講評】

入賞おめでとうございます

昨年同様、鶴岡市・村上市の朝日地域の四季折々の自然風景や観光資源、その写真を見て、そこに行ってみたくなるような写真というテーマのなかで審査をさせていただきました。

2回目ということで昨年より応募者が少し増えたことは喜ばしいことです。

四季の風景ということですが、秋の写真が大半を占めていました。審査としては春、夏、冬の写真を頭に入れながら、秋の写真にはきびしい眼で見させてもらいました。

会長賞と副会長賞は水面と光がともに生き生きとして良い作品で、共に甲乙つけがたく、悩みましたが、春、大鳥に行くと見られる水没林はだれでも見られる代表格として選びました。

今年は村上の方で道路が寸断されたのが影響され、村上方面の応募が少なかったようです。

来年は春夏秋冬、四季折々に出かけて、写真が増えることを、願っています。